

## 令和2年度 第1回医療的ケア部会 会議録

日時：令和2年12月16日（火）13：30～14：20

場所：高松市社会福祉協議会 東館 2F 会議室南

参加機関：さぬき市障害福祉課・東かがわ市福祉課・高松市障がい福祉課・高松市こども園運営課・高松市総合教育センター・高松市健康づくり推進課・三木町福祉介護課・高松訪問看護ステーション・支援センターこがも・支援センターたかまつ・基幹中核

### 議題

#### 1. 小グループでのWG報告

- ・作成したチラシは、NICUがある病院のMSW（退院時）、市保健師（3歳児検診時）、相談支援専門員（必要時）から対象者に渡してもらおうようにする。福祉の支援に繋がりやすくすることや、進学先を決めるにあたり学校で必要な医ケアが受けられる体制を準備するために活用していく。

#### 2. 医療的ケア児等コーディネーター（以下Co）について

- ・今年度の受講者は大半が高松圏域の所属で、訪問看護師の受講が多かった。スキルアップ研修については来月実施予定。圏域外にも発信し、申し込みを受けている。

##### 【Coに期待すること、研修で学んで欲しいこと】

- ・災害時WGで医ケアが必要な方の災害時個別支援計画をどうするか検討している。訪看や保健師、計画相談がそれぞれ対応を検討しても共有するような枠組みがない。Coが災害時個別支援計画を立て、みんなで共有できるようにする役割を担ってほしい。
- ・子どもの呼吸器（在宅での呼吸器管理）への理解を進めるような研修が必要ではないか。
- ・医療ベースのCoにも福祉が身近なものとなるような研修が必要ではないか。
- ・最初に関わる地域の関係者は多くが保健師だと思う。保健分野の支援にどのようなものがあるのかを知っておく必要があるのではないか。
- ・教職員や他の生徒に医ケアについて説明してほしい。
- ・保護者・学校・主治医をつなぐ役割を。

#### 3. 来年度の取り組み ～こども部会と連携し、医ケア児も安心して放デイを利用できるようにしたい

- ・医療連携加算（短期入所、就労AB、放デイ、児発）を取ることで、医ケア児の受け入れを進めていけないか。

⇒数年前、当部会がプロジェクトだった時にもこの加算を圏域内に広めるよう取り組みを行った（事業所が訪看等医療機関と契約するときの様式などを作成し、放デイ事業所に周知に回る）が、当時実際に加算を申請して医ケア児の受け入れを行ってくれた事業所は1事業所のみだった。

⇒単価が低い？

⇒訪看のスタッフ不足？

⇒原因を確認し、魅力のある医療連携加算にしていく必要があるのではないか。

【次回開催予定】未定